



平成22年10月14日
国土交通省
浜松河川国道事務所
飯田国道事務所
名四国道事務所

【 お 知 ら せ 】

7月豪雨による孤立化の影響を伺いました。

～ 三遠南信地域の課題 ～

1. 概 要

三遠南信地域においては、中山間地域の占める割合が高く、事前通行規制区間を多く有しておりこれまでも災害時における通行止めの影響を受けてきた地域であることから、災害時における道路網の被害状況や救急医療等の住民生活への支障を適切に把握し、情報発信することが重要と考えております。

この度、7月豪雨で孤立化した三遠南信地域への影響・課題や地域の声について、聞き取り調査の結果が取りまとまりましたのでお知らせ致します。

なお、三遠南信地域の基盤整備の骨格として安全・安心な地域ネットワークを確保に向け、三遠南信自動車道の整備を引き続き進めて参ります。

2. 孤立化の影響

孤立化の影響	約1,200世帯	約2,400人
通行止め箇所	22箇所(国道・主要地方道・県道) うち、3箇所は依然通行止め	
応急復旧費用	約3億円	

3. 地域の課題

三遠南信地域の約6割の方が土砂崩れや通行止めの影響を受けた経験があり、大雨による土砂崩れや通行止めに対する不安を抱えている。

狭隘道路による事故に対する不安や不満を抱えている。

救急搬送の際、患者及び救急隊員への負担が大きい

資 料 ・添付資料 - 1 三遠南信地域における7月豪雨のアンケート結果
・添付資料 - 2 参考資料:三遠南信自動車の整備効果

配布先 中部地方整備局記者クラブ、浜松市政記者クラブ、飯田市政記者クラブ、豊橋記者クラブ

解 禁 指定なし

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所

副 所 長
調査第二課長

なかじま ひろし
中嶋 弘
やまだ ひろゆき
山田 裕行

TEL:053-466-0111

1 三遠南信地域の被災状況

- 土砂崩れにより22箇所で行き止まり発生（うち3箇所は依然通行止め）
- 道路の応急復旧に約3億円（10自治体）
- 約1,200世帯、約2,400人が孤立

孤立化発生地区と孤立化世帯数・人数

孤立化地区	孤立化世帯数	孤立化人数
長野県飯田市 遠山郷（旧南信濃村全地区）	866世帯	1,875人
長野県飯田市 遠山郷（旧上村全地区）	144世帯	337人
長野県下伊那郡泰阜村 （2地区）	17世帯	31人
長野県下伊那郡天龍村 （2地区）	23世帯	54人
愛知県豊根村富山地区	69世帯	139人

自治体へのヒアリング調査結果

観光客の孤立化（遠山温泉郷：長野県）

道路が寸断され、観光客9人が移動できず、孤立（12時間 18:30～翌朝6:30）。

「かぐらの湯」（日帰り温泉施設）では、旅館に泊まれなかった観光客に夜間も開放（通常 営業時間 10:00～21:00）

遠山温泉郷観光協会ヒアリング結果より

三遠南信地域の主な通行止め発生箇所（7月13・14・15日にかけての豪雨による）



2 三遠南信地域へのヒアリング調査結果 ～7月の豪雨による影響について～

浜松河川国道事務所では、本年7月の豪雨による被災状況及び過去の豪雨等、自然災害発生による地域への影響、また、地域の皆様が感じておられる三遠南信地域における課題についてヒアリング調査を実施いたしました。

ヒアリング調査 実施概要

【ヒアリング目的】

- ・豪雨や通行止による影響を明らかにする
- ・三遠南信地域の住民・救急医療関係者・事業者の皆様が潜在的に感じている地域の課題を明らかにする。

地域課題の情報共有を図る。

【ヒアリング先】

- ・三遠南信地域の各自治体職員 (63名)
- ・バス事業者 (1社)
- ・タクシー事業者 (4社)
- ・高等学校 (3校)
- ・福祉施設 (7施設)
- ・消防本部 (3施設)
- ・病院 (6施設)
- ・商業施設(主に商店) (20店)
- ・郵便局 (4局)
- ・観光協会 (6協会)

【ヒアリング実施期間】

2010年8月9日(月)～8月27日(金)

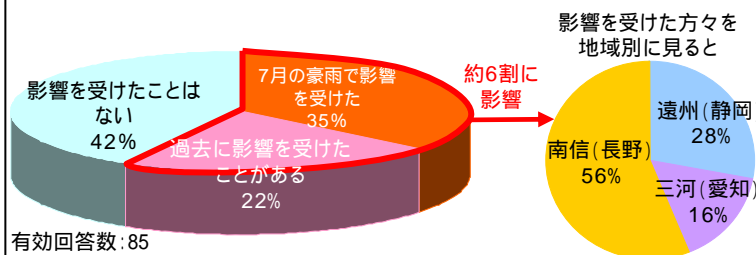
【ヒアリング内容】

- ・7月の豪雨による影響について (具体的な影響をお聞きしました)
- ・過去の豪雨による影響について (具体的な影響をお聞きしました)
- ・三遠南信地域の課題について

通行止め発生により受けた主な影響について

Q. 大雨による通行止めにより通勤や日常生活・各事業に影響を受けたことがありますか？

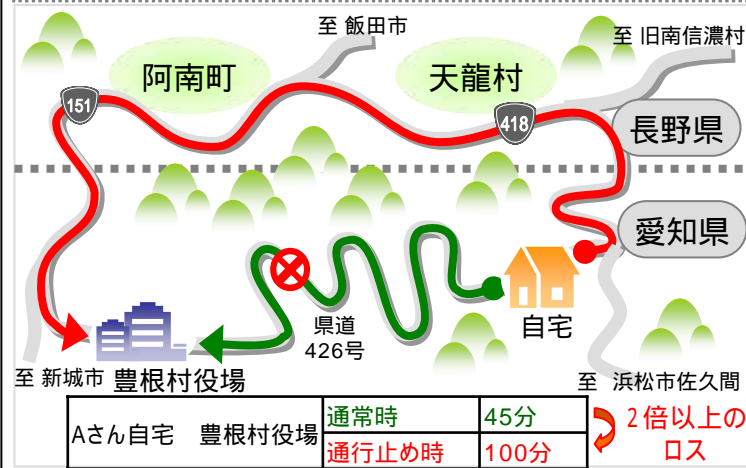
約6割が、大雨による通行止めの影響を受けた経験がある



【事例】豊根村役場に勤務するAさん: 通行止めによる通勤への影響

通行止め発生による通勤への影響～県境を越える迂回～

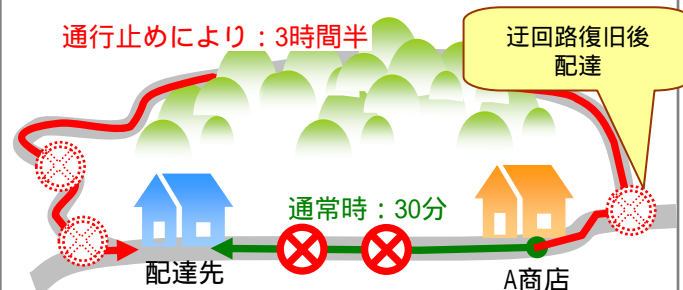
通勤経路上の県道426号線(豊根村富山字大沼付近)が通行止めになり、長野県阿南町及び天龍村経由の大幅な迂回を強いられました。



商業活動への影響(長野県飯田市旧上村の商店の事例)

<長野県飯田市(旧上村)のA商店ヒアリングより>

通常なら30分で配達可能な距離だが、大幅な迂回を強いられたため、3時間半を要しました。



A商店(旧上村)	配達先(旧南信濃村)	通常時	30分	通常時の7倍
		通行止め時	3時間半	

高等学校への影響(長野県下伊那郡内の高等学校の事例)

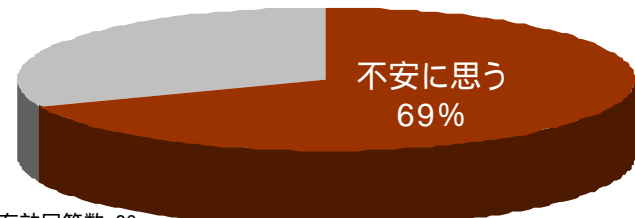
【7月の豪雨による影響】

- ・休校・始業時間の変更を実施
7月15日: 休校 7月16日: 1時間目カット
- ・遠山郷の孤立により、生徒3名が帰宅困難に。
(2名: 親戚宅、1名: 両親友人宅へ)

3 地域の課題 ~地域の声より~

- 地域の方々に『三遠南信地域の課題』を伺いました。
- その結果、主に「大雨による土砂崩れ・通行止め発生への不安」、「救急搬送時の不安」、「道路が狭く危険であり事故への不安」等が挙げられました。

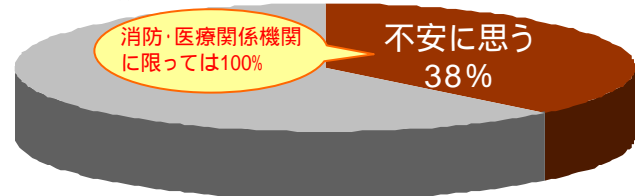
<大雨による土砂崩れ・通行止め発生への不安>



有効回答数: 80

- 主なご意見
- ・大雨への不安
 - ・孤立化への不安

<救急搬送時の不安>



有効回答数: 80

- 主なご意見
- ・通行止め時の救急搬送への不安
 - ・ドクターヘリの飛行困難時への不安

<狭い道路への不安・不満(危険性の指摘)>



有効回答数: 80

- 主なご意見
- ・交通事故の不安
 - ・観光客が敬遠

<その他>

・バスの本数が少なく高校への通学が困難で、下宿等家計への負担が大きい。

【水窪地域のバス事情】

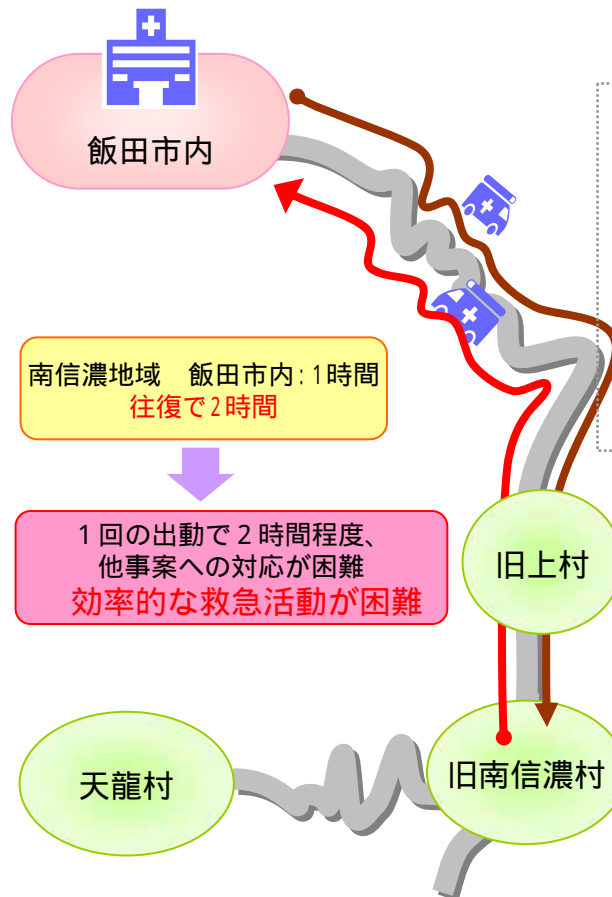
・浜松市内(旧天竜市の西鹿島駅) 天竜区水窪地区 バス:5往復/日
 ・水窪に戻る最終バス:遠州鉄道線 西鹿島駅バス停を18:30頃発
 新浜松駅 17時45分発の遠州鉄道に乗る必要がある

~救急隊員に聞いた救急搬送時の課題~

カーブが多く狭隘な道路による患者・隊員の負担増と非効率な救急搬送の現状

<救命措置に対する現状の課題>

カーブが多く狭隘であるため、患者への負担・処置する隊員の負担が非常に大きい。特に、心肺停止の患者を搬送する際には効果的な胸骨圧迫など搬送中でも救命処置を継続していく必要があるが、急カーブ等が大きな障害となっています。



<道路網の課題>

・1回の搬送に時間を要するので、次の出動体制が整うまでに時間がかかる。
 ・応援要請時も、他の消防署からの現場到着時間がかかりすぎる。

<南信州広域連合飯田広域消防本部ヒアリングより>

災害時においても安全・安心な地域ネットワークを確保

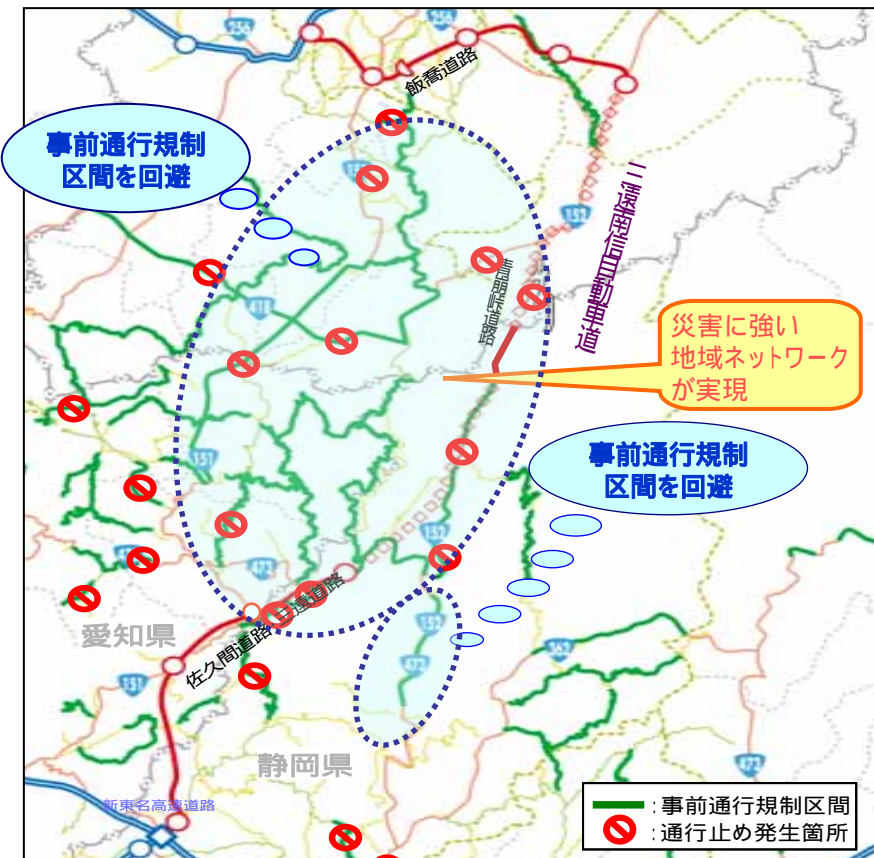
< 事前通行規制区間を回避できるようになります >

- 事前通行規制による交通への影響を受けない**安全・安心な道路ネットワークが確保**されます。

< 災害発生時のリダンダンシーの確保が期待されます >

- 災害発生時における**安全な迂回路が確保**されることで、**地域交通への影響が回避**されることが期待されます

災害に強い地域の構築



救命率向上に貢献する“命の道”

< 第3次医療施設への搬送時間が短縮 中山間地域の“命の道”として機能します >

- アンケートの結果、**約4割(救急医療関係者は全員)が不安に感じていた「救急搬送」**について、第3次医療施設への**搬送時間が短縮し、救命率の向上**が期待されます

(注)第3次医療施設：心筋梗塞、脳卒中、頭部外傷など一刻を争う重篤救急患者の救命医療を行う施設

拡大する第3次医療施設60分圏域

